

愛しのマン・レイ MAN RAY OF OUR AFFECTIONS

「愛しのマン・レイ」を語る

- 日時：2025年3月2日(日) 14:00から1時間程度（開場は13:30）
- 会場：東京富士美術館 本館 ミュージアムシアター
- 申込：不要、先着順（当日は13:30までにミュージアムシアター前にお並びください）
- 料金：無料（ただし、展覧会の入場料金が必要です）
- 定員：150名
- 登壇：石原輝雄（マン・レイ 蒐集家、研究家、銀紙書房社主）
木水千里（フェリス女学院大学 准教授）
宮川謙一（東京富士美術館 学芸員）
- 内容：「愛しのマン・レイ」展にご所蔵の作品・資料200点をご出品いただいた、マン・レイの蒐集家であり、研究家として知られる石原輝雄氏と本展図録にご寄稿いただいたフェリス女学院大学准教授の木水千里氏をお迎えし、本展を担当した宮川謙一学芸員も交えてトークセッションを行います。展覧会の準備段階での裏話、マン・レイ作品の魅力、人物像など、各々にとっての「愛しのマン・レイ」について語ります。

石原輝雄（マン・レイ 蒐集家、研究家、銀紙書房社主） Ishihara Teruo



- 1952年名古屋市生まれ。中部学生写真連盟高校の部に参加。
- 1975年マン・レイ作品購入。以降、研究・蒐集の成果をプライベート・プレス「銀紙書房」として発表。
- 主な著書に『マン・レイになってしまった人』『マン・レイへの写真日記』『マン・レイの油彩が巡る旅』『マン・レイ受容史』、編著に油彩作品目録、展覧会資料蒐集目録などがある。
- 国内外の美術館、画廊で蒐集したマン・レイ作品を公開。

木水千里（フェリス女学院大学 准教授） Kimizu Chisato

- パリ第一大学博士課程修了。お茶の水女子大グローバルリーダーシップ研究所特別研究員、早稲田大学助教を経て、フェリス女学院大学国際交流学部准教授。
- 非西洋文化への眼差し、写真や映画の登場、第二次大戦後のアメリカ美術の台頭等に着目し、フランスの美術史形成を考察している。
- 主な著作として“Malraux vu du Japon” (Classiques Garnier, 2023) 『マン・レイ 軽さの方程式』（三元社、2018）など。

